



2005

平成 17 年度 第 1 学期
期 末 テ ス ト
理科総合 A
(2 年)

必要な場合は、次の数値を使いなさい。

原子量 H=1.0 C=12 N=14 O=16 Na=23

Cl=35.5 Ca=40 Fe=56 Cl=35.5

アボガドロ定数 $6.0 \times 10^{23} / \text{mol}$

平成 17 年 9 月 2 日実施

茨城県立竹園高等学校

1. 原子番号 3 ~ 18の原子の元素記号と電子配置を，例にならって書きなさい。
(1 点 × 16)

	1	2	13	14	15	16	17	18
1								
2								
3								
4	K 2-8-8-1	Ca 2-8-8-2						

2. 次のイオンの，イオン式と名称を書きなさい。(1 点 × 10)

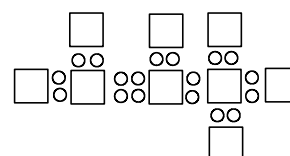
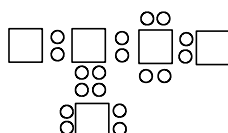
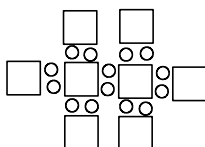
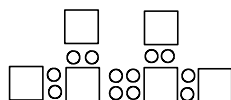
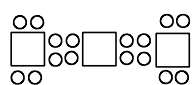
- (1) 電子配置が Ar と同じで，1 価の陽イオン。
- (2) 電子配置が Ar と同じで，1 価の陰イオン。
- (3) 電子配置が Ne と同じで，1 価の陽イオン。
- (4) 電子配置が Ne と同じで，2 価の陰イオン
- (5) 電子配置が Na^+ と同じで，2 価の陽イオン

3. 次の陽イオンと陰イオンからなる物質の，名称を記せ。

(2 点 × 4)

	陽イオン	陰イオン	名称
(1)	Na^+	SO_4^{2-}	
(2)	Ca^{2+}	F^-	
(3)	Na^+	NO_3^-	
(4)	Ca^{2+}	SO_4^{2-}	

4. 次の電子式で表される分子の構造式を書きなさい。ただし、原子は、原子番号1～10の原子のいずれかである。(2点×6)



5. 次の分子の構造式を書きなさい。(2点×6)



6. 次の物質は、(1)イオン結合でイオン結晶をつくるものか、(2)共有結合で分子をつくるもののいずれかである。(1)の場合は陽イオンと陰イオンを、(2)の場合は構造式を書きなさい。(2点×6)

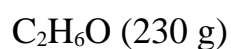
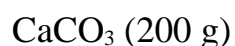
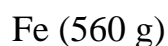
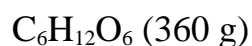
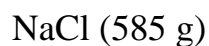
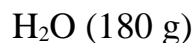


7. 次の物質が、それぞれ100gある。含まれる分子の数が一番多いのはどれか。

(3点)



8. 次の物質について答えなさい。(3点×2)



- (1) 含まれる原子の総数が二番目に多いのはどれか。
- (2) 含まれる原子の総数が三番目に多いのはどれか。

9. ある原子 6.0×10^{23} 個の質量は、窒素原子 6.0×10^{23} 個の質量の4.0倍であるという。
その原子の原子量はいくつか。(3点)

10. ある原子 6.0×10^{23} 個の質量は、炭素原子 12.0×10^{23} 個の質量の2.0倍であるとい
う。その原子の原子量はいくつか。(3点)

11. 次の化学変化の化学反応式を書け。(3点×5)

(1) 塩酸(HCl)に硝酸銀(AgNO_3)水溶液を加えたら白色沈殿が生じた。

(2) 塩化バリウム(BaCl_2)水溶液に硫酸 H_2SO_4 を加えたら白色沈殿が生じた。

(3) 硝酸鉛($\text{Pb}(\text{NO}_3)_2$)水溶液にヨウ化カリウム(KI)水溶液を加えたら黄色沈
殿(PbI_2)が生じた。

(4) ブタノール($\text{C}_4\text{H}_{10}\text{O}$)を完全燃焼させたら、二酸化炭素と水を生じた。

(5) ペンタン(C_5H_{12})を完全燃焼させたら、二酸化炭素と水を生じた。